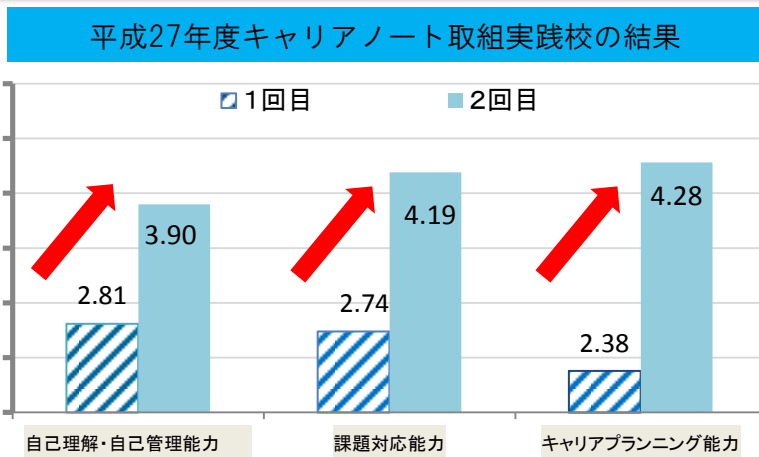
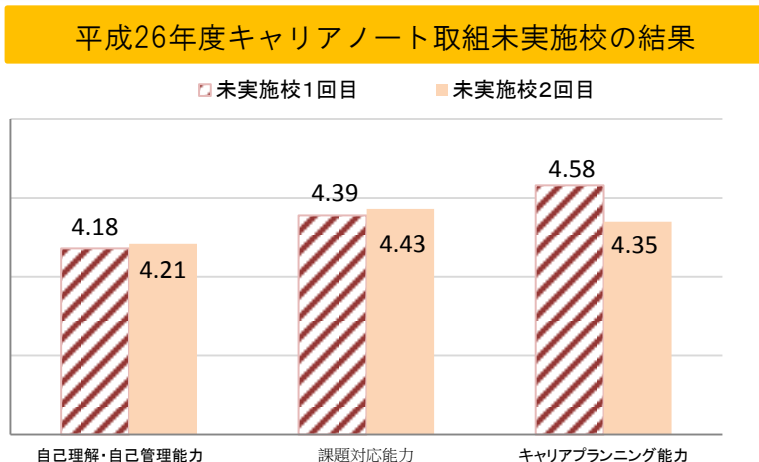


Q1: キャリアノートの取組には効果があるの？

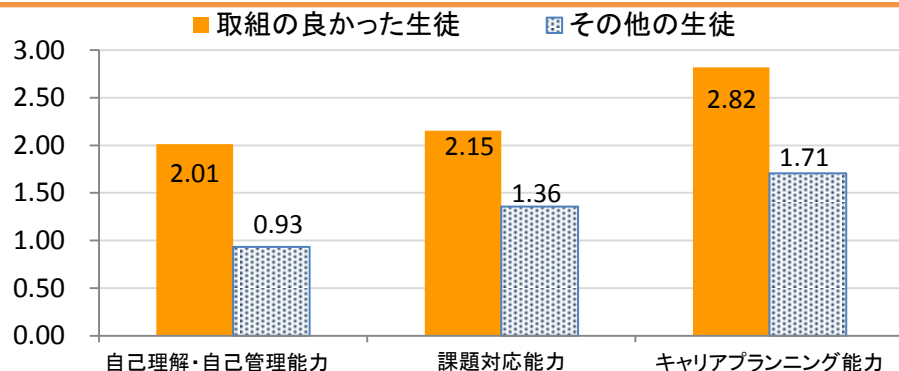
A1: 平成27年度キャリアノートを導入した14校のうち2校を対象校として、キャリア形成アンケート(高知県教育センター作成)を7月と10月に実施して検証した結果、「自己理解・自己管理能力」などで数値の上昇がみられました。(6件法による)



平成26年度の高校1年生のデータと比較すると、取組実施校の数値の伸びが大きかったことが分かりました。



キャリアノートに対する取組の良かった生徒と、その他の生徒のキャリア形成アンケートの1回目と2回目の差を比較した結果、取組の良かった生徒に、高い上昇が見られました。



Q2: キャリアノートを有効に使うには？

A2: まずは、しっかり活用すること。そのためには、教員によるチェックや助言が必要です。それによって生徒が自分の生活を見直すことにつながります。また、キャリアノートをコミュニケーションツールとして活用することでさらに効果が高まります。



「書く」ことで、「隙間時間」を見つけることができた。



ノートに書いたことに対して、先生のコメントが楽しみのになった。



ノートを点検しながら、生徒の状況を把握できるので、個々の生徒に応じた声掛けにつながります。

キャリアノート活用のPDCA

具体的な目標設定

①生徒の実態に即したノートの選定・作成

- ・生徒の課題に沿った内容・様式
- ・教員が指導に生かせる内容・様式

②具体的な目標設定「・・・できるようになる」

生徒自身が

- ・生徒の生活習慣を見直すきっかけとなる
- ・メモを取る習慣が身につく
- ・家庭学習内容や時間の偏りに気づく
- ・行事や予定を確認して計画を立てる

目的・目標の共有



①周知会等による目標の共有

- ・取組の目的や指導方法について教員間で共通理解を図る

②生徒への導入ガイダンス実施

- ・取組の具体的な目標について生徒と共有する
- ・記入内容や提出などについてのルールを示す



結果の分析・改善



①評価結果の分析

- ・アンケート調査等の結果を分析し、教員間で共有する
- ・取組の修正・改善の方法について検討する
- ・次年度の目標や取組について検討する

②取組及びノートの改善

- ・必要に応じて、取組内容の修正やノートを改善する

点検・評価

①ノートの点検、コメントの記入

- ・「できたこと」に○をつけて、肯定する
- ・「ふり回り」の内容についてコメントを記入する
- ・コメントは励ましや具体的な助言を心がける

②活用状況などの評価

- ・ノートについて教員や生徒の意見を聞く
- ・ノート活用の具体的な目標と活用状況を評価する
- ・キャリア形成アンケートなどを活用する
年間3回程度（4月・10月・1月頃）

